

# わたしの中の せんそう②

地下 末吉  
(高石市)

大正元年(一九一二年)生まれ

応名した者ほとんどが大阪出身のようでしたが、その主力は年若い初年兵でした。初年兵といっても、徴兵検査では第二種種といつて、戦時でなければ軍務につくことのない者でした。例えば身長が規定に足りない、身体と体重の約合が規定にあわない、近眼であるなど。この初年兵達が間にあわせの訓練をうけ、大半の者が戦地へ派遣されたあとに入隊して来たのは、宮崎県出身の、丙種合格を宣告された若者でした。片眼がつぶれた者がいました。身長、体重が普通よりずっと劣っていて、既製の軍服軍靴が大きすぎて間に合わない者もいました。

きびしい日々の訓練に堪えるにも、どんなにつらかったことだろうと思いついた。朝鮮の夏はかっと思いつける日射は強かったけれども、空気が乾燥していて、木かげはさわやかな微風がふきぬけました。でも京城の真冬は、ときに零下20度近くも冷えこみました。近くの入浴場から班内

戦争体験手記募集を見て、お寄せいただいた手記を順次掲載しています。

## 寄稿 私の戦争体験 (68)

に帰る10mで、ぬれタオルがぱりぱりになりました。洗面場のタンクの水は氷るし、小便の流れるコンクリートの上が凍るので、当番がツルハシでコツコツとくだけねばなりません。早朝の銃剣術の寒稽古も、はじめて木銃を手にする初年兵には、つらい訓練でした。若い見習士官や、古参の下士官に、いいかげんにあしらわれるのを見るのはがゆいのです。私もはじめは剣道とかまえが逆なので、勝手がちがって手ごたえがなかったが、すぐに慣れ、のちには有段者試験に合格しました。私のせめもの抵抗でした。

やがて中隊は、北辺日本海に面した港、清津の仮設営舎に、警備隊として派遣されました。営舎の中央には巾1mばかりのコンクリートでかためた、いわゆるいろりが通っていて、そこで薪をたいて暖をとるので、その両側に通路があります。腰にかけられる高さの床を、はりに、わらブトンを敷きならべたものです(但し兵隊だけ)。この冬は日本海から吹きつける風のため、毎日のように吹雪と、砂ぼこりが舞うのです。

たった一つのたのしみは、この猛吹雪の中を、防寒具に身をつつまみながら出かける日曜ごとの外出でした。

た。町へいけば何か食べられる、少しのアルコールにもありつけるからでした。食料事情は極端に悪く、副食といったら、毎日のように塩でまぶしたような鮭の一切、それも何年たったのか、臭くて鼻をつまんで口にしなければならぬようなものです。猫でもこの鮭はまたいで通るといいうので、「猫またぎ」という名がつけられました。

一年余りで交代になりましたが、龍山に帰ると、初年兵には戦地派遣が待っていました。戦局がどうなっているのか、内地の政情、日常の生活がどうなっているのか、情報を得る方法がないのでは知るよしもありませんでした。不利な戦局であることは想像されました。

昨年、当時同じ中隊にいた初年兵の1人から、戦友会を開くから出席されたいという案内をうけ、南海沿線の会場に出かけました。参加した者、下士官1名、初年兵だった者11名、うち4名が私の班の者でした。その中1名がニューギニア戦線に参加し、中隊でただ1人の生還者だったそうです。39年ぶりの再会でした。

(続く)

この手記は1982年に執筆されたものです。

## お楽しみクイズ クロスワードパズル

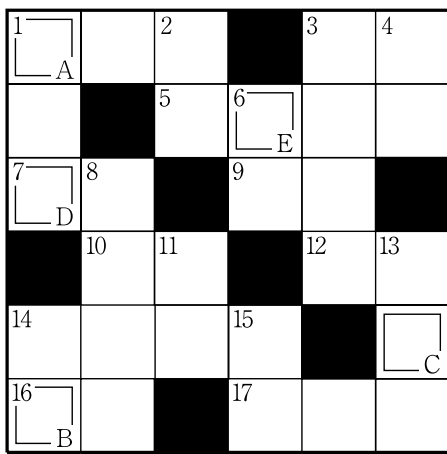
●応募方法/郵便ハガキにクイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・友の会に対するご意見等を記入のうえ、〒590-0821 堺市堺区大仙西町6丁184-2 友の会事務局「お楽しみクイズ」係あてに郵送か、FAX(072-244-7860)、下の二次元コードで取得できるメール(tomo-kenkou@mimihara.or.jp)で。

●しめきり/2024年2月14日(水)消印有効

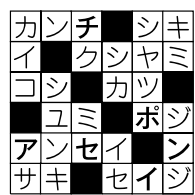
●当選発表/厳正なる抽選の上、10人のかたに賞品(図書カード500円分)を、賞品の発送をもって発表に替えさせていただきます。

●クロスワードパズル解答はがきに書かれた「ご意見」は、紙面に掲載させていただきます。ご了承ください。

カギを解き、二重ワクに入る文字をABC順に並べてできる言葉は何?



- タテのキー
- ① 続けて優勝
  - ② 直接。――談判
  - ③ ーとヨコ糸
  - ④ ーは小を兼ねる
  - ⑤ 同文
  - ⑥ 漁夫
  - ⑦ 音読みと――読み
  - ⑧ ハッカ。ペパーの――
  - ⑨ ガム
  - ⑩ 勝負事得意――にさ
  - ⑪ 病の――に就く



●12月号の答「ポイントア」  
●応募数/127通  
●正解者数/125人

- ヨコのキー
- ① 電子――でチン
  - ② より高いものはな
  - ③ ーに生息する深海魚
  - ④ 「花の都」――
  - ⑤ ー上位の対
  - ⑥ ーに目がくらむ
  - ⑦ 巨万の――を築く
  - ⑧ 年末の――ダウン
  - ⑨ 模範試験の略
  - ⑩ 軽妙で面白い小話、寸劇

## 短歌 俳句 川柳

停戦のままでいいよと叫びたい  
焼夷弾の下逃げまどいたる我等 上田 雅子

嫁ぐ娘に母の自慢の木の芽和  
格子戸の町の派出所室の花 森田 悦子

日々テレビ賑わふ伎士祿十二月  
国沢恵美子

先陣を引き継ぐ不正輪を広げ  
潔くやめたら拍手万博は 古賀 光政

万博資金能登復興にまわそうよ  
堀西 和子

堺谷九条男

＊水句を詠む時の情景や思いもお寄せください。  
＊俳句・短歌・川柳の次回締め切りは、2024年2月14日(水)です。  
＊特に、俳句・短歌のご応募お待ちしております。

## 編集後記

元日早々能登半島で震度7の大きな地震。堺でも長く揺れた。家屋の倒壊、崖崩れ、津波、大規模火災：寒さの厳しい時期にライフラインも途絶えた避難生活はどんなに苛酷なことだろう。避難所は阪神・淡路大震災の時から何も変わっていない体育館での雑魚寝。地震、台風、豪雨など、どの地域でも避難生活を送る可能性はある。防災や避難環境を整えることに私たちの税金を使って欲しい。「万博で被災地に希望を」との某政党の代表の言葉にはあきれられるばかり。被災地の復興以外に何の希望があるのか? (明)

「とも」「同仁会報」は、ホームページでご覧いただけます。下の二次元コードを読み取ってください。



社会医療法人同仁会「同仁会報みみはら」  
<http://www.mimihara.or.jp/mimihara.html>



健康友の会みみはら一機関紙「とも」  
<http://www.mimihara.or.jp/tomo.html>